

# LIBRARY

鳥取大学附属図書館報

140

Mar. / 2026

## INDEX

- 01 巻頭言  
図書館用語になじんでいますか 海藤 俊行
- 03 鳥取大学附属図書館 概要
- 05 私の選んだこの一冊  
『Rich Life』  
まだ知らない景色が人生を豊かにする』 岩田 健一  
『銀の匙』 米田真理子
- 07 トピックス
- 10 主要な活動状況

## 巻頭言

# 図書館用語に なじんでいますか

副学長（附属図書館長）  
医学部教授

かいどう としゆき  
海藤 俊行



鳥取大学附属図書館を日頃よりご利用いただき、誠にありがとうございます。2025年より附属図書館長を拝命いたしました、海藤俊行でございます。附属図書館では、これまで一貫して研究成果の発信支援、電子ジャーナル・電子書籍の整備、学修環境の充実、地域との連携などに取り組んでまいりました。お気づきの点や改善のご提案がございましたら、どうぞ遠慮なくお寄せいただければ幸いです。

さて、図書館業務に携わっておりますと、技術の進歩や利用者ニーズの変化に伴い、新しい用語が次々と現れ、その理解に戸惑うことも少なくありません。私自身もその一人ですが、一般の方々にとってはなおさらのことと存じます。図書館でよく見聞きする用語には、例えば、次のようなものがあります。アーカイブ、アクティブラーニング（能動的学修）、eブック（電子書籍）、オープンアクセス（無料公開）、サブスクリプション（定期購読契約）、ピアサポート、ビブリオバトル、ラーニングコモンズ（学修支援空間）、リサーチコモンズ（研究支援空間）、リポジトリ、APC（論文掲載料）、OPAC（オンライン蔵書検索）、ORCID（研究者識別子）、RDM（研究データ管理）……。これらすべてを説明できる方は、図書館司

書に匹敵する専門的知識をお持ちかもしれません。しかし実際には、その一部にしかなじみのない方が多いのではないのでしょうか。そこで今回は、比較的耳にする機会の多い二つの言葉について、少し考えてみたいと思います。

まずは「ビブリオバトル（Bibliobattle）」です。近年は学校教育の現場でも実施されているため、若い世代や教育関係者の方にはなじみがあるかもしれません。ビブリオバトルとは、「自分が薦めたい本を短時間で紹介し合い、参加者全員で最も読みたくなった本を選ぶ読書会」のことです。医学を専門とする私だけの連想かもしれませんが、初めて耳にしたとき、「バトル」という語感から、ビブリオ属（Vibrio）の細菌、たとえば腸炎ビブリオやコレラ菌と闘う場面を思い浮かべてしまいました。これは、Bibliobattle の Biblio と、細菌の Vibrio が、日本語では音として区別されにくいことによるものでしょう。ちなみに Biblio は「書物」を意味し、聖書を表す Bible の語源でもあります。一方、Vibrio は「振動するもの」という意味で、顕微鏡下でべん毛を振って移動する菌体が振動するように見えることに由来すると言われています。書物を表すラテン語には、もう一つ liber があります。もともとは「樹皮」を意味し、古

## ビブリオバトル

2010年代から盛んに行われるようになり、現在では毎年、大学生の全国大会が開催されています。

鳥取大学附属図書館でも、学生図書館ワーキンググループと協働し、この全国大会の予選会を実施しています。



## 機関リポジトリ

鳥取大学は「鳥取大学研究成果リポジトリ」を設置しています。リポジトリでは、鳥取大学の教育・研究成果を収集・保存しており、それらをWeb上で誰でも閲覧できる「オープンアクセス」として公開しています。



くは文字を書く材料として樹皮が用いられたことから、「書物」を意味するようになりました。この liber が、英語 Library（図書館）の語源であることは、お気づきになる方も多でしょう。一方で、Biblio もドイツ語 Bibliothek（ビブリオテーク）をはじめ、イタリア語・フランス語・スペイン語など、ヨーロッパ諸語に広く残っています。

次に「リポジトリ」に目を向けてみましょう。図書館や大学では「機関リポジトリ」という言葉が定着していますが、一般的な認知度はまだ高いとは言えないかもしれません。英語 repository の語源はラテン語の re-（再び）と ponere（置く）に由来し、「価値あるものを再び利用できるように保存しておく場所」という意味合いを含んでいます。似た語に「アーカイブ (archive)」がありますが、こちらは主として記録として保存することに重点が置かれる傾向があります。したがってリポジトリは、「大学の研究論文を保存・公開し、知の宝庫として再利用を促進する」という重要な役割を担っていると言えるでしょう。語源を知ると理解は深まりますが、なお、「リポジトリ」という音の響きは、日本語としてはややなじみにくい印象もあります。「オンライン論文書庫」といった表現のほうが、

一般の方々には直感的に伝わりやすいのかもしれませんが。

さて、図書館に関連する用語に少しでも関心を持っていただけましたでしょうか。鳥取大学附属図書館はこれまで、機関リポジトリの充実、ラーニングコモンズの整備、eブックの拡充などに継続的に取り組み、多くの学生の皆さんから高い評価をいただけてまいりました。しかし、これに安住することなく、今後もアクティブラーニングスペースの拡充、図書館の地域開放の推進、図書館アプリの充実、郷土資料のデジタルアーカイブ化、リサーチコモンズの整備、学生同士が学び合うピアサポート体制の構築といった課題に取り組み、学生・教職員、そして地域の皆さまにとって、より使いやすく、より開かれた図書館へと進化を続けてまいります。

今後とも附属図書館へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 鳥取大学附属図書館ビジョン2025

鳥取大学附属図書館ビジョン2025は、大学図書館の役割と機能を踏まえ、鳥取大学ビジョン2030において目指す道程のうち、学術情報流通の激変を鑑み、中間地点までの図書館の戦略的な位置づけを明確にしたものです。

鳥取大学附属図書館は、鳥取大学の基本理念である「1.社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成」「2.地球規模及び社会的課題の解決に向けた先端的研究の推進」「3.国際・地域社会への貢献及び地域との融合」の3つの目標のカテゴリ（教育支援・研究支援・社会貢献）に即した具体的方策を立て、これらすべての達成に必要な学術情報資源を収集・整理・保存・提供し、またそれを担う人材を育成します。

### 理念

鳥取大学附属図書館は鳥取大学の基本理念「知と実践の融合」を実現するために、教育・研究の支援を行う学術情報基盤拠点として、さらには地域社会に貢献する図書館としての役割を担い、学術情報資源の整備と人材育成に努める。

### 教育支援

教員・学生との協働のもと、学生の多様な学修環境を整備する。

#### ● 施設・設備

館内施設を利用した学修と、学外からアクセスできるコンテンツ利用による非来館型の学修の双方の支援のための環境を整備する。

#### ● 人的支援

教員との連携による情報検索やライティングの講習会の開催、オンライン教材の作成を行い、学生の学修効果を高める支援を行う。

#### ● 学生協働による図書館の活性化

学生の参画による選書・展示・企画イベントを開催し、学生の視点を図書館運営に生かすことで、図書館の活性化をはかる。

### 研究支援

研究を推進するための電子的リソースを中心とする学術情報を安定的に提供するとともに、学内で創成される教育研究成果発信・保存のポータル機能を担う。

#### ● 研究情報の安定的提供

研究に必要な図書・雑誌等の蔵書、および、電子ジャーナル・電子書籍等のリソースを安定的に整備し、その利用環境を整える。

#### ● 教育研究成果をオープンアクセスに

学内で創成される教育研究成果を「鳥取大学研究成果リポジトリ」に登録し発信・保存することで、大学ブランド力の向上を図り、論文等の学術情報のオープン化を促進する。

#### ● オープンサイエンスの推進

研究データの適切な保存管理およびオープン化を推進するため、研究データマネジメント環境を整備する。

### 社会貢献

地域の知の拠点として、公共図書館・大学図書館その他の組織との積極的な連携協力を行い、地域のイノベーション推進に貢献する。

#### ● 相互連携・協働企画

鳥取県内および全国の大学・公共図書館と連携し、相互貸出・相互研修等を行い、地域デジタルアーカイブへの協力など、地域のイノベーション推進に貢献する。

#### ● 地域ネットワークによる情報提供

鳥取県内の機関と連携し、地域における産学連携を推進する情報の提供に努める。

#### ● SDGsの推進

SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」を達成するため、地域に開かれた図書館として資料と環境を提供する。

### 学術情報資源の整備と人材育成

デジタル資料、紙資料双方の学術情報資源を収集・整理・保存・提供し、その利用促進に努めるとともに、それらを担う人材を育成する。

#### ● 資料整備

デジタル、紙資料双方の図書館資料の収集・整備と、所蔵資料のデジタル化を促進し、検索ツールを整備する。

#### ● 情報の共有と創出

図書館員が教員・学生等と協力して、多様な学術情報の共有と創出に貢献する。

#### ● 図書館専門職員としての人材育成と大学図書館機能の拡大

図書館員がこれまで培ってきた図書館の専門知識に加え、学術情報に関する新たな知識やスキルを習得し活用することで、大学図書館機能を拡大させる。

# コレクション

## 郷土資料・貴重資料

本学の前身である旧鳥取県師範学校や旧高等農業学校時代から受け継がれてきたもののほか、卒業生・関係機関・地域の方々から寄贈された、本県・本学の歴史を語る数々の郷土資料、価値のある刊本・写本等の貴重資料を多数所蔵しています。



第10代鳥取藩主池田慶行公直筆絵画

## 大型コレクション

- ◆ 百部叢書集成
- ◆ コロンビア大学教育学叢書
- ◆ Gazette des Beaux-Arts. Series 1-6
- ◆ 世界センサス集成（アジア）
- ◆ ランドルトーベルンシュタイン 科学・技術数値データ集 新版 第3集
- ◆ エンブレム（寓意図像集）関係コレクション

# 統計 (2025年4月1日時点)

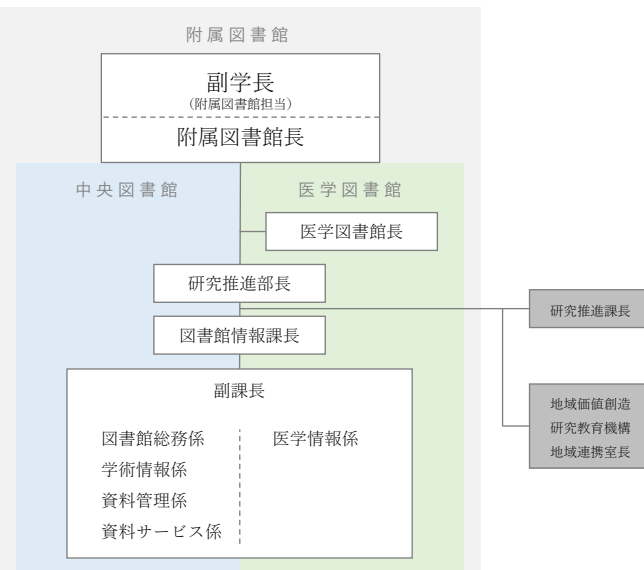
区分		所蔵図書 (冊数)			所蔵雑誌 (タイトル数)				利用状況			
		和漢書	洋書	合計	和雑誌	洋雑誌	電子ジャーナル (契約タイトル数)	合計	開館日数	入館者数	館外貸出 (図書)	
											点数	人数
令和6年度	中央図書館	435,228	101,725	536,953	7,559	2,379	6,537*	16,475	300	191,155	34,749	19,391
	医学図書館	77,484	78,396	155,880	1,442	1,165	436	3,043	315	57,209	9,553	5,662
	計	512,712	180,121	692,833	9,001	3,544	6,973	19,518	-	248,364	44,302	25,053
令和7年度	中央図書館	428,306	100,838	529,144	7,513	2,295	6,599*	16,407	294	220,465	40,276	22,462
	医学図書館	77,996	78,498	156,494	1,388	1,162	426	2,976	303	60,170	8,727	5,160
	計	506,302	179,336	685,638	8,901	3,457	7,025	19,383	-	280,635	49,003	27,622

\*電子ジャーナル(中央図書館)は一部を除き全学で利用可。

# 沿革

1949年	鳥取大学設置と同時に、その母体となった鳥取師範学校・鳥取青年師範学校・米子医学専門学校・米子医科大学・鳥取農林専門学校の各図書館・図書室を包括して附属図書館が発足
1966年	施設整備費（統合移転）により、現在地に中央図書館（鉄筋2階書庫4層建）を新築
1971年	医学部分館（鉄筋2階書庫4層建）を新築
1989年	図書館業務電算化。OPACを導入
1996年	地域住民への貸出サービス開始
2004年	従来の附属図書館業務に総合メディア基盤センター事務、事務情報基盤等を加えた学術情報部を創設
2009年	鳥取大学研究成果リポジトリの運用開始
2010年	中央図書館リニューアルオープン
2013年	医学部分館リニューアルオープン
2015年	医学部分館を「医学図書館」へ名称変更
2018年	事務組織改編により学術情報部を解体、附属図書館業務を所掌する図書館情報課は研究推進部へ編入 入退館システムを導入

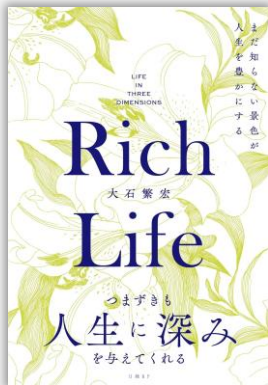
# 組織 (2025年4月1日時点)



職員数 ※括弧内は非常勤職員数 (外数)	令和6年度	令和7年度
	※4月1日時点	※4月1日時点
図書館総務係	1 (1)	1 (2)
学術情報係	2 (1)	3 (1)
資料管理係	2 (3)	2 (3)
資料サービス係	2 (2)	2 (2)
医学情報係	2 (3)	3 (3)



# 私の選んだこの一冊



## Rich Life

まだ知らない景色が人生を豊かにする

大石繁宏 著. 日経BP, 2025 / ISBN: 9784296002429

中央図書館 所蔵準備中

みなさんは、自分の人生について考えることはありますか。私はときどき考えます。人生のこれまでのことも、これからの人生のことも考えますよね。人生は、誰にとっても1回しかないもので、しばしば興味の対象になります。

心理学にとっても、「人生」というのは興味深い対象のようで、「良い人生とは何か」という研究が1980年代からはじまったそうです。それから30年の間に、「良い人生」には「幸福な人生」と「意味のある人生」のふたつの軸があり、どうやら直交しているらしい（互いに独立しているらしい）ことがわかってきました。

まず、「幸福な人生」とはなんでしょうか。一言で言えば満ち足りた人生ということです。たとえば、お金にも不自由しない、なにも心配なくてもよい、安定した人生のことです。「良い人生」といえば、金銭的成功をあげる人が一定数いるので、まず、これを思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。

「幸福な人生」のつぎに提唱されたのが、「意味のある人生」です。「意味のある人生」とはなんでしょうか。一言で言えば、意義のある人生ということです。「満ち足りて安定した人生」だけでは、不足であり、人として生まれたからには、意味のあることをなすとげるのが良い、偉大なことをなすとげるのが良い、そういった人生が「良い人生」だ、というわけです。

この二つの指標は、今では、かなり広く認められるものとなっています。本書ではそれらふたつに加えて、新しい指標として「心理的豊かさ」を提唱します。「心理的に豊かな人生」とは、言い換えれば「経験に富んだ」人生ということです。新しいことを探求する、複雑なことに取り組む、視点の変化を体験する、そういう人生のことです。

この指標も、「幸福な人生」や「意味のある人生」と同じように、互いに独立していることが心理学的実験によって示されています。つまり、この三つの指標をA、B、Cとすると、たとえば、Aであるが、Bでなく、Cでない、といったように、

互いに独立して成立しうる（互いに従属変数でない）ということとです。

これがどういう意味を持つかという、たとえば「幸福な人生」を実現しようがしていなかろうが、「心理的に豊かな人生」を追求しようということとです。

人類は、数万年前にアフリカから出て、移動を繰り返し、世界中に広がって住むようになったといわれています。「移動する」「新しいところに住み着く」「違う集団に入っていく」「異なる人類（ネアンデルタールのような）と交雑する」といったような、いわば冒険をくりかえして、現在に至るわけですよね。こういった性向が、我々人類には備わっていると思われまます。

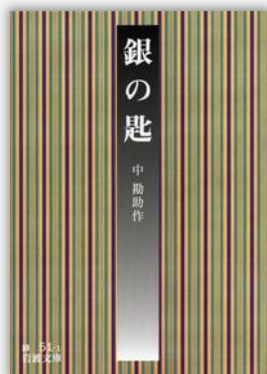
私は昨年、はじめて、中国とインドに行ってみました。どちらの旅も、ほんとうに面白い体験でしたが、インドは特に面白くて、ふつうの(?)国際会議に行っただけなのですが、右を向いても左を向いてもインド人ばかりの中、「めずらしい日本人がいる」というだけの理由で、壇上に上げられ、「さあ何か話せ」といわれたり、幼児期以来はじめて手で掴んでご飯を食べたり、本当に面白かったです。私はもう55歳なんですけど、まだまだ新しい体験ってあるんだなあ、と深く感じ入りました。

学生のみなさんは、まだ若い人が多いでしょうから、私よりもっと、「新しい体験」「視点の変化を伴う体験」をする余地があると思います。せっかく大学という学問の府にいますから、「安心安定」から一步踏み出して、ぜひ、いろいろな「体験」をいっしょにしてみませんか。

岩田 健一  
(いわた けんいち)  
情報戦略機構 准教授



附属図書館委員会委員の先生方に  
おすすめの本をご紹介します



## 銀の匙

中勸助 著. 岩波書店, 1999 / ISBN: 9784003105115

中央図書館 新書・文庫コーナー. 文庫/IBK/G51-1

日本の古典文学を研究しています。研究にも仕事にも、本は欠かすことのできない存在ですが、いつ読書したろうと、たまに不安になります。研究にも仕事にも関係のない、読書。私はどんな風に本を読んでいったっけ、と。

そんな中にも忘れがたい一冊があります。中勸助の『銀の匙』です。幼い男の子と伯母さんの物語。私はおばあちゃん子だったから、自身の幼少期に重ね、伯母さんが亡くなる場面で涙が止まらなくなりました。最後まで読んですぐ読み返し、同じ所でまた泣きました。そのあと、私はこの本を読むことができなくなりました。読みたくなくなったのではなく、開くことのできない本として、本棚に長い間仕舞い続けてきたのでした。

主人公とは時代も住む場所も性別さえも違うのに、小説には私が子どもだった時分の心の動きや大人との関わり方、おもちゃ、動物のことなど、何もかもが私が経験したとおりに書いてあると思いました。言葉の一つ一つが心地よく、しつとりまとわりつく布が肌を撫でていくような感覚がしました。そこに祖母との関係性をトレースして、感傷に浸ったのでしょう。爾来この本は祖母の死と一体化し、読書できない本として、長らく心の奥底に留めてきました。かといって、私は祖母の死を封印していたわけではなかったの、なぜ読めないのか、読まないのか、自分でもわからなくなっていたのです。

今回思い切って読み返してみました。懐かしい気持ちで読み進め、最後に恐る恐る奥付を見ると、私が大学院生だった時期の版で、祖母は存命中でした。解説は和辻哲郎が執筆しており、夏目漱石が高く評価したことなどを記していました。そういえば、私は大学生になって漱石にはまったことを思い出しました。大学院にあがると、和辻を好きな先生がいて、妙に気が合いました。近代ゼミへの転向を勧められたくらいだから、私は調子に乗って漱石の話をしたに違いありません。しばらくすると先生は病気で休まれ、復帰後のある日、研究室の本棚から好きな本を持って行ってよいと言われました。

私は断ることができず、傍にあった文庫本を二冊ほどもらいました。ほどなくして先生は亡くなりました。

開くことができなかつたのは、先生からもらった文庫本でした。今も本棚の奥に仕舞っています。読書はその後も続け、『銀の匙』を手にしたきっかけは忘れましたが、吸い寄せられるように読んだことを覚えています。小説の世界に引き込まれ、私の人生に通じる何かを見出したのか。祖母との未来を予見し、先生の死が影を落とし、そんな読書経験に本の存在が結びついて、いつしか記憶がごっちゃになったのだと思います。

ところで、中学生の時、友人が「本を開くと旅が始まる」と話したことを、今でもよく思い出します。押し入れの中、小さい人たちの世界、セーヌ川のほとり、雨の日の窓際、たしかに色んな所へ連れて行って行ってくれました。大学生になり、分析することを学び、何かを読み取ろうとするようになりました。時には解説や論文を頼り、ある時は友と語り合い、少し背伸びして、子どもの頃とは一味ちがう読書に熱中しました。今回、『銀の匙』を読み返して、我ながらセンチメンタルな読書だと呆れましたが、心揺さぶる描写の核心に触れる瞬間があったのかもしれない。『銀の匙』は、子どもと大人の間を行き来する年頃にちょうどよい一冊ではないかと思います。ベストセラーであり続ける理由もわかった気がします。どんな経緯だったにせよ、心に引っかかる本がある生活は、私にとっては悪くない経験だったようです。謎が解けたところで、次の段階の読書生活に駒を進めてみようと思います。

米田 真理子  
(よねだ まりこ)

地域学部 教授



# TOPICS

鳥取大学附属図書館の  
最近の動向



**大学図書館 学生協働交流  
シンポジウム 2024**  
9.5(Thu)-6(Fri)  
in Tottori

学生は今、図書館に何を望んでいるのか？  
これからの図書館の在り方は？

「ウィズコロナの経験をアフターコロナでどう活かすか」

日時 9/5(Thu)-6(Fri)  
会場  
対面：鳥取大学 広報センター2F  
オンライン：Zoom  
申込方法等の詳細は下記をご覧ください。  
[https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakusei\\_shinpo/main.html](https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakusei_shinpo/main.html)

主催：中国四国地区大学図書館協議会(主管：鳥取大学)  
お問い合わせ：鳥取大学附属図書館(担当：森山)  
Mail: [gakushin2024\[at\]ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:gakushin2024[at]ml.adm.tottori-u.ac.jp)

## 大学図書館学生協働交流 シンポジウムを開催

2024年9月5・6日、鳥取大学附属図書館を実行委員館として「第12回大学図書館学生協働交流シンポジウム」を開催しました。本シンポジウムは、全国の大学図書館学生協働団体の交流を目的としており、国公私立37大学104名が参加しました。

今回は本シンポジウム初のハイブリッド形式による開催となり、本学の学生図書館ワーキンググ

ループと協力して運営を行いました。「ウィズコロナの経験をアフターコロナでどう活かすか」をテーマに活動報告・フリートーク・ワークショップを行い、各団体の情報交換やこれからの図書館に向けての活発な議論が行われました。

## モバイルバッテリーの貸出を開始

中央図書館では、モバイルバッテリー（Anker PowerHouse 90）7台を、2024年10月に鳥取大学学生生活動支援会様よりご寄贈いただきました。翌11月より学生・教職員を対象に貸出を開始し、2025年10月末までの1年間で7

89件の利用がありました。性能については、およそノートパソコン（50Wh）1台分が充電可能とされています。電源コンセントが設置されていない閲覧機でパソコンを利用される際など、ぜひご利用ください。



Web上で貸出状況の確認ができます

鳥取大学附属図書館 中央図書館



利用時間  
開館～閉館20分前  
(当日限り)

対象者  
学生・教職員

## モバイルバッテリー 借りれます

利用方法  
カウンターにて  
学生証・職員証を  
提示してください

※事前予約不可



## 鳥取大学研究成果リポジトリのシステムが移行

鳥取大学研究成果リポジトリ (<https://repository.lib.tottori-u.ac.jp>) のシステムは、2023年6月より、ENU Technologiesが提供するEarmasから国立情報学研究所(NII)が提供するJAIRO Cloud(WEKO2)に移行しました。

JAIRO Cloudとは、2012年度より運用開始された、機関リポジトリ環境提供を行うクラウドサービスのことをいいます。核となる機関リポジ

トリソフトウェアに国立情報学研究所開発のWEKOを採用しています。さらに同年9月には、WEKOのバージョンアップが行われ、WEKO3へ移行しました。

機関リポジトリは、鳥取大学の構成員が生産した学術研究成果を、電子的に収集・保存し無償で発信するという機能を担っています。システムの変更により、これら機能の更なる向上が期待されます。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのサービス制限の終了

鳥取大学附属図書館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年3月よりサービスの制限を行ってまいりました。その後、同ウイルス感染症の感染状況に応じてサービスの制限と緩和を行ってまいりましたが、2023年5月8日よりすべてのサービスを制限なくご利用いただけるようになりました。これは同ウイルス感染症の5類移行を受け、『鳥取大学新型コロナウイル

ス感染拡大防止のための行動指針』が改定されたことに伴うものです。

なお館内には引き続き手指用・座席用の消毒液を設置しており、必要に応じてご利用いただけます。





**鳥取大学研究成果リポジトリ**  
Tottori University Research Result Repository

言語: 日本語 | ログイン

---

**お知らせ**

・このサイトについて  
鳥取大学研究成果リポジトリとは、鳥取大学の構成員により生産された学術研究成果を、電子的に収集・保存し無償で発信するものです。  
教職員・学生の方で、論文・研究データ・講義資料などの研究・活動成果をお持ちの方は、ぜひ鳥取大学研究成果リポジトリへの登録をお願いします。

[注 意 事 項](#)

鳥取大学研究成果リポジトリ

トップ | ランキング

統計期間: 2024-12-16 ~ 2025-12-16

**最もダウンロードされたアイテム**

1	(10680)	人はなぜ推しを推すのか? : ナラティブからみる推しの存在理由とその機能
---	---------	--------------------------------------

## 図書館システムの更新

図書館システムは資料の貸出・返却、施設利用状況の管理、利用者データや資料データの管理など、図書館サービスを幅広く支えるシステムです。2025年9月にこの図書館システムの更新を行い、これに伴って次のような変化がありました。

### ● 蔵書検索Plusの提供開始(旧 論文総合検索)

鳥取大学の蔵書を越えて、図書や雑誌、論文や新聞記事など、様々な資料を幅広く検索することが可能です。蔵書検索と合わせて利用することができます。

### ● 電子ジャーナルリストのリニューアル

「鳥取大学電子ジャーナルリスト」が「電子ジャーナル・ブック検索」としてリニューアルしました。鳥取大学で契約のある電子ジャーナル・電子ブックのほか、契約なしでも利用できる電子資料をまとめて検索することができます。

### ● My Libraryに利用者バーコード表示機能を追加

図書館ウェブサイト内のユーザーページ「My Library」に、利用者番号に対応したバーコードを表示させられるようになりました。利用者カードを持参することなく、入館ゲートの認証や資料の貸出を行うことができます(貸出はカウンターでの処理に限ります)。



新しく導入された「蔵書検索Plus」では、画面左手に鳥取大学の蔵書(図書類・雑誌)が、画面右手にその他の資料が表示されます。

## 国立国会図書館視覚障害者等用 データ送信サービス 及び学術文献録音テープ等の 貸出を開始

附属図書館は中央図書館・医学図書館ともに2025年11月に国立国会図書館より視覚障害者等用データ送信サービス及び学術文献録音テープ等の貸出の実施機関として承認を受けました。これを受け、来年度より当館で、国立国会図書館作成の視覚障害者等用データ及び学術文

献録音テープ等の貸出・提供を開始します。同サービスは、学内者のうち視覚障害その他の理由で通常の活字の印刷物の読書が困難な方を対象としており、利用には別途申請が必要です。詳細は附属図書館ウェブサイトでご案内する予定です。

## 図書館等公衆送信サービス (試行)を開始

2025年4月1日より、学内の公費利用者を対象に「図書館等公衆送信サービス」を試行運用しています。本サービスは、従来の複写料金に加え著作権者へ補償金相当額を支払うことで、鳥取大学附属図書館の所蔵資料の複写データを来館せずにメールで受け取ることができるサービスです。利用は調査研究目的

に限り、著作権法の定めにより複写範囲は著作物の一部となります。詳細は附属図書館ウェブサイトの案内ページ(<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/only/koshusoshin.html> | 学内アクセス限定)でご確認ください。

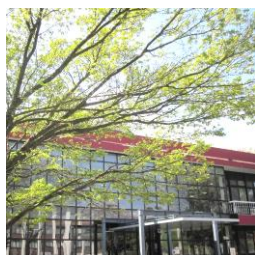
# 主要な活動状況

## 令和5年度

4月	開館時間変更の試行開始 (1日-) 中国四国地区大学図書館協議会総会 (20日 オンライン) 国立大学図書館協会中国四国地区協会総会 (21日 山口大学) 学生図書館ワーキンググループ (WG) による新入生歓迎ツアー&茶話会 (25, 28日)	10月	第2回中央図書館蔵書計画専門委員会 (2-20日 書面審議) 学生図書館WGによるクイズラリー@風紋祭 (7-9日) 中国四国地区大学図書館研究集会 (13日 オンライン) 鳥取地区図書館実務者連絡会議 (19日 鳥取大学附属図書館) 国際オープンアクセスウィーク2023 (23-29日) 全国大学ビブリオバトル2023地区予選@鳥取大学 (24日)
5月	大学入門ゼミ、情報リテラシーなどの授業で、図書館職員による図書館利用法などの説明を実施 (主に5-6月) 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのサービス制限の終了(8日) 第1回附属図書館委員会 (30日 オンライン)	11月	全国大学ビブリオバトル2023ブロック決戦 (11日 中国Cブロック) 日本医学図書館協会中国・四国地区会総会 (16日 オンライン) 国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議 (17日 高知大学) ブックハンティング (30日 今井書店吉成店)
6月	第1回中央図書館蔵書計画専門委員会 (15日 オンライン) 第1回医学図書館運営委員会 (15日 オンライン) 国立大学図書館協会総会 (22-23日 一橋大学一橋講堂) 鳥取県図書館協会総会 (22日 倉吉交流プラザ) 第1回資料選定専門委員会 (27日 オンライン) 鳥取大学研究成果リポジトリシステム移行・WEKO3アップデート (30日-9月21日)	12月	中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議 (1日 岡山大学) 第2回附属図書館委員会 (5日 オンライン) 研究データ管理・利活用セミナー (8日) 学生図書館WGによる本の福袋の貸出 (12-27日) 米子市立図書館鳥取大学附属図書館医学図書館共催講演会 (17日)
7月	学生図書館WGクイズラリー@オープンキャンパス (22-23日)	1月	第3回中央図書館蔵書計画専門委員会 (10-19日 書面審議) 第3回資料選定専門委員会 (30日 オンライン)
8月	鳥取県図書館大会 (1日 とりぎん文化会館) 第2回資料選定専門委員会 (1日 オンライン) 第2回附属図書館委員会 (2-4日 書面審議)	2月	中央図書館閲覧室LED化 第2回医学図書館運営委員会 (14-26日 書面審議)
9月	学内ワークスタディ学生受入 (8-12月)	3月	第4回中央図書館蔵書計画専門委員会 (5-15日 書面審議) 鳥取県立図書館相互職員派遣研修受入 (12、13、15日) 第4回附属図書館委員会 (11日 オンライン) 第3回医学図書館運営委員会 (14日 オンライン) 鳥取地区図書館実務者連絡会議 (22日 鳥取市立図書館) Facebookアカウント閉鎖 (31日)

## 令和6年度

4月	学生図書館WGによる本の福袋の貸出 (11日-5月9日) 国立大学図書館協会中国四国地区協会総会 (19日 香川大学) 学生図書館ワーキンググループ (WG) による新入生歓迎ツアー&茶話会 (15日)	10月	学生図書館WGによるクイズラリー@風紋祭 (12-14日) 第2回中央図書館蔵書計画専門委員会 (25日-11月1日 書面審議) 中国四国地区大学図書館研究集会 (25日 オンライン) 国際オープンアクセスウィーク2024 (21-27日) 全国大学ビブリオバトル2024地区予選@鳥取大学 (29日)
5月	大学入門ゼミ、情報リテラシーなどの授業で、図書館職員による図書館利用法などの説明を実施 (主に5-6月) 第1回附属図書館委員会 (14日 オンライン) 第1回医学図書館委員会 (16日 オンライン) 中国四国地区大学図書館協議会総会 (17-31日 オンライン) 第1回中央図書館蔵書計画専門委員会 (28日 オンライン)	11月	モバイルバッテリー貸出開始 (7日-) 全国大学ビブリオバトル2024ブロック決戦 (10日 中国Cブロック) 日本医学図書館協会中国・四国地区会総会 (13日 川崎医科大学) 国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議 (15日 鳥取大学)
6月	鳥取県図書館協会総会 (22日 倉吉交流プラザ) 湖東中学校職場体験学習受入 (25-27日) ブックハンティング (26日 今井書店本の学校今井ブックセンター)	12月	中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議 (6日 鳥取大学) 第2回附属図書館委員会 (19日 オンライン) 米子市立図書館鳥取大学附属図書館医学図書館共催講演会 (17日)
7月	国立大学図書館協会総会 (9-10日 宮崎大学) 学生図書館WGクイズラリー@オープンキャンパス (20-21日) 鳥取県図書館大会 (31日 倉吉交流プラザ)	1月	GakuNin RDM・JAIRO Cloud連携機能先行利用開始 (27日)
8月		2月	研究データ管理・利活用セミナー (5日) ブックハンティング (12日 今井書店吉成店) 第2回医学図書館運営委員会 (14-21日 書面審議)
9月	大学図書館学生協働交流シンポジウム (5-6日 鳥取大学附属図書館) 学内ワークスタディ学生受入 (8-12月)	3月	第3回中央図書館蔵書計画専門委員会 (14-21日 書面審議) 鳥取県立図書館相互職員派遣研修受入 (12、13、15日) 第3回附属図書館委員会 (10日 オンライン) 第3回医学図書館運営委員会 (17日 オンライン)



編集・発行

鳥取大学附属図書館

〒680-8554

鳥取市湖山町南4丁目101番地

 <https://www.lib.tottori-u.ac.jp>

 [https://x.com/TottoriU\\_Lib](https://x.com/TottoriU_Lib)